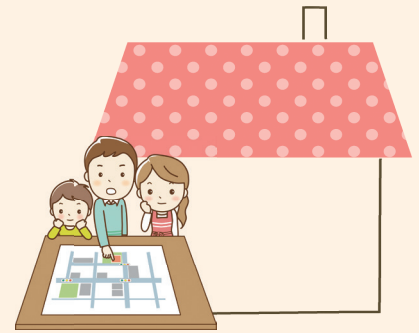


災害から家族を守る ～開こう、わが家の防災会議～

災害への備えはできていますか。備えているつもりでも、いざという時にどうしたらよいか分からないことがあるかもしれません。落ち着いて行動できるよう防災会議を開いて親子でシミュレーションして考えてみましょう。



STEP① チェックシートを作ろう

避難する場所は？

避難する場所は災害の種類や避難期間によって異なります。市では広域避難場所兼避難所や指定一時避難場所などがあります。ホームページや防災マップで確認してみましょう。



防災マップ

避難場所への行き方は？

自宅から避難する場所までの経路を、手書きの地図などで記しておきましょう。なるべく広く安全な道を通るルートにしましょう。

家族との連絡方法は？

災害時の連絡方法をいくつか決めておきましょう。災害発生から数日間は電話回線が制限される場合があります。次のように電話以外にもさまざまな連絡手段があります。

- 無料通話アプリ ● SNS
- 災害用伝言板…携帯電話各社が災害時に開設するサービス。メッセージを登録できる。
- 災害用伝言ダイヤル(171)…NTTが災害時に運営する声の伝言板。メッセージを録音・再生する。公衆電話や携帯電話でも利用可能。

その他気をつけることは？

非常用持ち出し袋の準備や中身の確認をしたり、避難する際に持っていくものを家族で分担したりするなど、いざという時にすぐに行動できるようにしましょう。

家の防災会議(年 月 日)

避難する場所

避難する経路

連絡方法

その他、気をつけること

STEP② 繰り返し見直そう

時間が経つことで環境や考え方、気をつける点が変わります。定期的に家族で防災会議を開き、チェックシートを更新していきましょう。

【防災会議で確認することの例】

- 進学や進級に伴う子どもの生活行動範囲の変化
- 家族の役割分担の変化